

令和4年度 第3回さいたま市民大学運営委員会 議事録

1 開催日時

令和5年1月10日（火） 午後2時から午後3時まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員：8名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 安藤 陽 副委員長
- ③ 青木 光美 委員
- ④ 飯塚 真澄 委員
- ⑤ 岩井 寛和 委員
- ⑥ 桑原 静 委員
- ⑦ 羽諸 英臣 委員
- ⑧ 平田 利雄 委員

〈事務局：11名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 中村 幸司
- ② 参事兼副館長 中村 和哉
- ③ 主幹兼事業・企画係長 野口 みずほ
- ④ 事業・企画係主査 曾根 啓佑
- ⑤ 事業・企画係主事 藤田 雄一郎
- ⑥ 社会教育指導員 渡邊 京子
- ⑦ 社会教育指導員 永井 紀美子
- ⑧ 青少年宇宙科学館 広田 和与
- ⑨ 博物館 矢野 慧太
- ⑩ うらわ美術館 前田 伽南
- ⑪ 大宮西部図書館 小峰 智仁

4 欠席者名

〈委員：3名〉

- ① 井上 直也 委員
- ② 寺田 道子 委員
- ③ 難波 洋子 委員

5 報告事項

(1) 前回の議事録について

6 協議事項

(1) 令和5年度さいたま市民大学各コース(案)について

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 報告内容

(1) 前回の議事録について、事務局から報告。

10 協議内容

(1) 令和5年度さいたま市民大学各コース(案)について、資料1と2を基に説明。

事務局より、教養Ⅰ・Ⅱ、ライフプラン(租税・入門編)・(租税・応用編)、ファイナンシャル(入門編)・(応用編)、ITスキル、世界遺産、市民企画、地域ボランティア育成の各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

【教養Ⅰコースについて】

安藤副委員長	第1回が調整中となっているが、前回案から変更になるのか。
事務局	事務局としては、前回案と同じく湯浅氏を想定している。
神保委員長	補足だが、多様性やダイバーシティというテーマについて、訴求力・発信力が高い人物として湯浅氏を推薦した。昨年から調整を続けており、秘書の方とのやり取りもできたので、近々話が進められると思う。
神保委員長	言葉の問題だが、「ダイバーシティ」という言葉は使わず「多様性」という言葉に統一するのか。
事務局	「ダイバーシティ」だと、社会的な問題というより、ビジネス用語として受け取られやすいと考え、市民の方により身近なテーマとしてあえて「多様性」という言葉を選択した。

【ライフプランコースについて】

岩井委員	入門編はどの年代をターゲットにしているのか。
事務局	特定のターゲットではなく、全世代を対象としている。オンラインによる実施であるため、どの世代でも簡単にアクセスできるよう広報の際に気を付けたい。
青木委員	租税の分野は中学校でも勉強が始まり、また受験勉強等にも必要な知識である。入門編は配信期間が長く、また誰でも視聴することができるということなので、学校等教育現場にも情報提供するとよい。
事務局	教育現場にも周知できるようにする。
桑原委員	他のコースに比べて、タイトルが固い。ファイナンシャルコースのように、「今一度」「今こそ」といった言葉を加えると目を引くのではないか。
事務局	検討する。

【ITスキルコースについて】

神保委員長	開催時期が9月へと変更になったのは、単純に講師都合なのか。
事務局	その通りである。前回会議まででの調整が十分でなく申し訳ない。

【世界遺産コースについて】

飯塚委員	前回の会議で、夏の開催であれば夏休みの宿題など子どもの受講ニーズも見込める、というメリットがあったが、このコースも講師都合で10月へと変更なのか。
事務局	講師都合により変更となった。秋の旅行シーズンなども含め、楽しめる内容となるよう調整していく。
飯塚委員	市民の興味を引くよう、具体的な地名や遺産名などを「主な内容」欄に盛り込むといいと思う。
羽諸委員	歴史コースと日程が重なっているが、内容的に受講者層も重なるのではないか。間に合うようであれば日程調整するべきなのではないか。
事務局	可能であれば調整する。

【地域ボランティア育成コースについて】

平田委員	今後ボランティアで活動したいという方に対して、受講料 4,000 円は必要なのか。
事務局	市民大学の受講料に関する規定に従い、受講料部分が 3,000 円となっている。また、テキスト代として 1,000 円を想定している。
平田委員	今後ボランティアとして活動してくれるのであれば、何らかの補助をすることはできないのか。
事務局	ご意見はごもっともだが、受講料設定はさいたま市民大学規定として定めているものであることと、今年度既に実施した内容と差が出てしまうことから、この設定としたい。

うらわ美術館、大宮西部図書館、青少年宇宙科学館、博物館より、美術Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、科学、歴史の各コースについて説明をした。

以下、質疑等の内容

【美術Ⅰ・Ⅱコースについて】

飯塚委員	会場が浦和コミュニティセンターとなっているが、美術館内では開催場所がないのか。
うらわ美術館職員	コロナ対策もあり、美術館内の部屋だと最大 21 人しか入れない。より多くの方に受講していただけるよう、美術館近隣の会場を検討した。
神保委員長	連続した 1 つの講座ではなく、2 つに分けた理由は。
うらわ美術館職員	展覧会ごとに講座テーマを設定しており、展覧会自体のテーマとターゲットが異なるため、それぞれの講座として設定した。

【歴史コースについて】

桑原委員	「主な内容」があっさりしているが、募集案内が冊子になる際はもっと詳しくなるか。
安藤副委員長	今「主な内容」に書かれている内容は「演題」の副題として、より具体的な内容を「主な内容」欄に記載してはどうか。

博物館職員	そのように講師と調整する。
-------	---------------

事務局より、さいたまの魅力、プログラミング、パソコンの各コースについて説明をした。

【さいたまの魅力コースについて】

岩井委員	鉄道そのものについて学ぶのか、さいたま市と鉄道の歴史・関係性について学ぶのか。
事務局	座学においては、さいたま市と鉄道の関係についても盛り込んでいただく。そのうえで、施設見学の際には、鉄道そのものについての豆知識などにも触れていただこうと思っている。 今年度の鉄道に関する講座でも、車輪に関する説明や車両の詳しい解説などがあり、子どもたちの新たな発見につながったように見受けられたので、こうした点は継続していきたい。
羽諸委員	鉄道博物館が貸し切りの状態で行うのか、一般来場者もいる状態で行うのか。
事務局	一般来場者もいる状態で行う。ただ、座学に関しては鉄道博物館内の会議室などを利用し、施設見学の際も一般開放されていないスペースを見せてもらうなど、講座としての差別化が図れるよう調整している。

【その他・全体について】

神保委員長	今年度、受講者からコロナ禍での開催について苦言等があったのか。
事務局	コロナに関連しての不安や不満のご意見はなかった。
岩井委員	39歳以下の受講者の把握については、今後も続けるのか。その場合、特に力を入れる年代等はあるのか。
事務局	さいたま市総合振興計画の目標でもあるので続けていく。特定の年代に力点を置くことはなく、現役世代向けのITスキルコースや、子どもを主な対象としたさいたまの魅力コースなど、バランスよくPRをしていく。

11 その他

令和4年度さいたま市民大学実施状況について、事務局から報告。

12 閉会